

令和4年度 第2回（通算第52回） 山梨県立博物館 運営委員会 議事録

日 時： 令和4年12月14日（水） 午後2時～4時

場 所： 県立博物館 生涯学習室

出席者：

- 委員 相沢季里、市川美季、大隅清陽、末木健、中山誠二（笹本委員欠席）
- 事務局 守屋館長、小林副館長、森原学芸幹、渡邊総務課長、田口企画交流課長、
関係職員9名
- 観光部文化振興・文化財課 中野副主幹

会議の次第：

- (1) 開会
- (2) 委員の委嘱、委員長・委員長代理の選任、挨拶等
- (3) 審議
- (4) 報告
- (5) その他
- (6) 閉会

会議の概要

- (1) 開会
- (2) 委員の委嘱、委員長・委員長代理の選任、挨拶等
 - 事務局より各委員の紹介、委嘱状交付。
委員の任期満了を受け、新たに各委員へ委嘱状（任期2年）を交付した。
 - 館長挨拶
 - 委員長・委員長代理の選任。
「山梨県附属機関の設置に関する条例」に基づき、委員長を委員の互選により、委員長代理を委員長の指名によりそれぞれ選任。委員長は末木委員、委員長代理は中山委員に決定した。
- (3) 審議
 1. 令和5年度の企画展・シンボル展および令和6年度の企画展計画について【非公開】
※非公開理由：山梨県情報公開条例第8条第1号及び2号に規定する事項について
審議等を行うときに該当するため（指針第3条第1項）
- (4) 報告【公開】

1. 令和5年度の調査研究計画について

2. 開催済み展覧会について

3. 利用者状況について

○事務局より報告1～3について、各々資料2～4に基づき説明。

○委員からの発言は特に無し。

(5) その他【公開】

(委員)

- ・県立博物館の標識が薄くなってしまっていたりするので、関係の部署にお願いすることも考えてほしいと思う。
- ・コロナ禍も警戒を少しずつ解いているなかだが、しっかり手を消毒するなどして、提供できるものを再開して欲しい。
- ・喫茶店の営業がないことが残念で、食事は難しくても軽食のようなものがあると良い。観光部局になったこともあるのでよく検討して欲しい。
- ・コンクールの開催など、教育関係に関連した施策もあつたら良いと思う。

(事務局)

- ・博物館の設管条例にはレストラン業務は謳っていないので、県の事業としては運営できない。事業者がいれば貸すことができる。自動販売機も一般競争入札で、誰も手を上げない時期もあった。いろんなところに声かけはしているが、採算が取るハードルが高く、コロナに関係なく厳しい状況だ。県が規定する条件でできる事業者があればぜひ使って欲しいと考えている。

(委員)

- ・当初はレストランもあり運営されていたが、この何年かは閉めている。美術館とは同じ県の施設でなぜだろう、というのが県民一般のお考えではないか。よく検討していただき、応募がないからダメでなく、応募ができる方法は何なのかを考えて、再開を目指していただきたいと思う。

(委員)

- ・看板が消えている問題については、私も気になっていた。県のなかでよく検討して欲しい。
- ・博物館の振興という課題のなかで、デジタルアーカイブというものもその一つで博物館でもいろいろとやっている。甲州文庫については資料閲覧室では見られてもインターネットでは見られないので、これをそろそろネット視聴可能なアーカイブにしてはどうだろうか。それが博物館を訪れる一つのきっかけになる。

(事務局)

- ・看板の状況については私たちが承知している。さまざまところへ働きかけ、綺麗な看板を実現していきたい。

- ・甲州文庫などのアーカイブ化だが、来春の博物館法の改正に向けて博物館の業務に努力目標として位置づけられていることも承知している。一つのハードルとして、資料の利用に利用料を徴取していることもあり、全てを無料で公開することを困難にしている。その点では遅れているところがあるが、しっかり取り組んでいきたいと思う。

(委員)

- ・そのほかに議題として挙げるものはあるか。なければ事務局に戻したい。

(事務局)

- ・委員長、ありがとうございました。
- ・確認いたします。審議事項の令和5・6年の企画展計画については、承認するものとして答申することとし、その他の委員の意見については付帯意見として合わせて答申するというところでよろしいでしょうか。

(委員)

- ・よい。

(事務局)

- ・委員の皆様、ありがとうございました。

(6) 閉会